

(様式 1-3)

## 福島県（飯舘村）再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 26 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	健康とリスクコミュニケーション推進事業	事業番号	(3)-11-2
交付団体		飯舘村	事業実施主体（直接/間接）	飯舘村（直接）	
総交付対象事業費		7,650（千円）	全体事業費	32,000（千円）	
再生加速化に関する目標					
<p>原子力災害による全村避難以降、飯舘村は、平成 23 年 12 月に“村民一人ひとりの復興を目指す”を基本理念とする「いいたてまでいな復興計画（第 1 版）」を策定し、その後半年毎に計画の見直しを実施しており、現在、第 4 版の策定を進めている。</p> <p>飯舘村では、帰村宣言後、村に「戻る」と選択する村民だけでなく、村に「戻らない」と選択する村民に対しても、可能な支援を行っていくこととしている。</p> <p>原子力災害後の放射能の影響については、多くの村民が、不安を抱えながら生活を送っている。そのため、将来の村民の帰還の促進及び円滑化を図るため、飯舘村では、体内に蓄積した放射線量や甲状腺がんの検査、放射線リスク等に関する対話集会や情報提供及び携帯型線量計の配付等を行い、村民の放射線に対する理解を深めるとともに、村民各自の放射線管理の意識を高めることを推進するものである。</p>					
事業概要					
<p>放射能に関する村民の理解を深めることにより、放射能への不要な心配を軽減するため、放射線に関する情報の収集、専門家等による放射線リスクについての対話集会等の開催及び放射線リスクと長期避難による健康管理に係る情報を提供する新聞等の発行を行う。</p> <p>村民に対し、放射線に関する分かりやすいリスクコミュニケーションに取り組むことにより、村民の被ばくによる将来的な健康被害への不安解消に資する。</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 26 年度&gt;</p> <p>(1) 放射線の専門家、医師、臨床心理士、村民、議員代表等から構成されるリスクコミュニケーション推進委員会により事業方針を決定し、各部会（編集、一般、教育）にて詳細な検討を実施。</p> <p>(2) 委員会委員や部会メンバーによる小さなコミュニティでのリスクコミュニケーションの実施。</p> <p>(3) リスクコミュニケーション（教員、保健師など）の養成。</p> <p>(4) リスコミ新聞「かわら版 道しるべ」の発行。</p> <p>(5) 健康リスクコミュニケーション講演会の開催。（追加事業）</p> <p>リスコミ新聞発行の事業費を見直し、講演会開催のための講師等謝金を計上することとしたい。</p> <p>&lt;平成 27 年度&gt;</p> <p>前年度と同様。</p>					
地域の再生加速化との関係					
<p>飯舘村の再生・復興のためには、幅広い世代の村民の帰村が重要な課題の一つである。</p> <p>飯舘村が、放射能に関する知識と情報を提供することは、村民自身で安心・安全を確認できること、放射能に対する不必要な不安を抱かないことにつながり、村の帰村宣言後、村民が「戻る」「戻らない」の選択を行うに当たって、一人でも多くの村民の帰村を促すことに資するものである。</p>					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					